

子育て支援充実の岡山県奈義町 広島市豪雨災害伝承館の視察研修に

1月23日に岡山県奈義町、24日に広島県の豪雨災害伝承館と災害復旧箇所の視察に行きました

美術館と図書館を併設した文化芸術ゾーン「奈義町現代美術館」をバックに記念の1枚！



奈義町は、鳥取県に近い岡山県北東部に位置し、四季折々の美しい自然に恵まれた町です。平成24年に「奈義町子育て応援宣言」を行い、**町独自の子育て支援策や、若者定住施策を進め、令和元年には合計特殊出生率が日本でもトップクラスの2.95**となりました。

黒潮町の子育て支援策と同様のものもありますが、加えて、「出産祝い金一律10万円支給」「医療費高校生まで無償化」（本町も令和6年4月から実施）、「高校在学中には年間24万円の就学支援金を支給」、「大学生には町独自の奨学金を用意し、卒業後町内に在住する期間は返済免除」などの**経済的支援**があります。お金のばらまきでは解決しない課題に対しては**地域づくりや子育てしやすい機運醸成**として、5人の子育てアドバイザーが常駐し、子育て世代の心の支えとなる『なぎチャイルドホーム』の運営など**メンタル的支援**を行っています。

地域課題の**住む、働く**ことに関しても、「民間の賃貸住宅の建設を助成」「民間分譲地補助」「新築住宅に対して100万円補助」など施策を積み重ねています。

地域通貨カード「ナギフトカード」を創設し、全町民が所有して買い物ポイント、電子マネー、地域商品券各種給付金支給の際に活用。**スマホとも連動**でき、スマホ決済も可能な仕組みを作っています。



広島市の豪雨災害伝承館では、語り部の高岡館長に当時の説明と、復旧までの道のりについて説明を受けました。

平成26年（2014年）8月20日未明に発災した豪雨により、広島市安佐南区などで、死者77人（災害関連死含む）の人的被害と、家屋全壊179棟、道路・橋梁・河川堤防1079件の物的被害をもたらしました。

伝承館は、この豪雨災害から学んだことを**後世に伝える、残す**ために令和5年9月に建てられたものです。

被災後に**大切なのは「地域のつながいだ」**と教わりました。

